

◇ 令和2年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	18,852,796円		16,672,817円	健全経営となった	今後もこの状態を継続する
施設HPアドレス	http://www.machikyou.jp/kusatsu/		2年目					
指定管理者名	草津学区ひと・まちいきいき協議会		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
草津学区の特色に合わせた事業展開が行えるよう創意工夫を図る。まちづくりセンターの利用者が安全・安心して使用できるよう管理運営に努める。		新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響もあり、昨年度より貸館件数や利用者数が減少したものの、利用者のニーズを踏まえながら取り組みを実施され、地域住民の交流を図られた。感染症対策においては、パネル設置や消毒の徹底の他、各部屋の定員や席の配置図案等、まちづくりセンター独自のマニュアルを作成され、きめ細やかな対応で、安全・安心して利用できるよう努められた。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
新型コロナウイルス感染症への対策による感染予防と感染拡大の防止に努めながらセンターの管理運営を行えた。		(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務（仕様書P3,4）			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	安心して利用できるように、新型コロナウイルス感染症対策を行った。新型コロナウイルス感染拡大の為、利用件数や利用人数の減がみられた。	上半期評価
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆
	下半期評価	利用者への感染拡大防止の協力、午後の部貸館前には職員による消毒も行い安心して利用できるように努めた。	下半期評価
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

施設および備品の維持管理等（仕様書P4～7）			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	施設維持管理計画に定められた点検を行い施設の安全管理を行った。設備・備品については常に注意を払い、利用に対応できた。	上半期評価
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆
	下半期評価	日常では実施できない清掃箇所を12月に利用者団体と特別清掃として実施した。施設駐車場の管理において不法駐車や不法投棄のトラブルが課題として残った。	下半期評価
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務（仕様書P7～9）			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	センターの利用者にホームページにて、休館情報などを発信した。地域や市民の情報などを施設内に掲示し、来館される方に案内できた。	上半期評価
	☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	同上	下半期評価
☆☆		☆☆☆☆	

経営管理に関する業務（仕様書P9,10）			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	今年度は、事業収入が当初見込みより減少した。必要な経費については、収支状況をみながら協議し優先順位をつけて対応した。	上半期評価
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆
	下半期評価	施設の老朽化による修繕料の負担増が心配される。利用者アンケートを参考にし、関係部門と協議しながら取り組んでいきたい。	下半期評価
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	